



真田宝物館及び文化施設にかかる  
民間活力導入可能性調査

---

インフォメーションパッケージ



## 【調査の概要】

- 調査の趣旨 ..... 2
- 松代地区の概要 ..... 4
- 想定される事業内容 ..... 8
  - ・ 真田宝物館のリニューアル事業
  - ・ 文化施設の利活用事業
  - ・ 事業のバンドリング
- 今後のスケジュール案 ..... 17

## 【資料編】

- 真田宝物館・文化施設の概要 ..... 20
- 各施設の情報 ..... 30
  - ① 真田宝物館・休憩所
  - ② 松代城跡
  - ③ 真田邸
  - ④ 文武学校
  - ⑤ 旧白井家表門
  - ⑥ 旧樋口家住宅
  - ⑦ 旧前島家住宅
  - ⑧ 旧松代鐘楼
  - ⑨ 旧横田家住宅
  - ⑩ 寺町商家
  - ⑪ 山寺常山邸
  - ⑫ 象山記念館

# 調査の趣旨



## 真田宝物館のリニューアルの必要性

- 昭和44年に開館した真田宝物館は、松代藩真田家に伝来した大名道具を中心とする歴史資料、約5万点を収蔵・公開する博物館です。貴重な文化財を収蔵する施設でありながら、今日においては、施設の老朽化や耐震性能不足、収蔵スペースの不足など多くの課題を抱えています。
- これらの問題を解消し、貴重な文化財を適切に将来に伝えていくとともに、真田家の歴史と文化を通じて、訪れる人々に新たな感動と学びを提供することが求められています。
- 施設のリニューアルにあたっては、単なる施設の改善にとどまらず、「真田」にまつわるブランドイメージの刷新や、松代城下町における文化観光の発信・創造拠点としての機能強化を行い、観光振興や地域活性化へつなげていくことを目指します。
- また、市内の他の美術館や博物館との差別化及び、他の観光施設との連携についても考慮する必要があります。



## 地域の文化施設利活用の必要性

- 松代地区は、真田家ゆかりの地として、歴史的建造物や文化財が豊富な地域です。市所有の施設は適切に保存改修がなされ、一般公開や利活用により、地域住民や観光客、地元団体などが見学・利用しており、地域に根付いた施設としてまちに溶け込んでいます。
- しかし、現状ではこれらの資産が十分には活用されておらず、文化・歴史を巡る観光地としての潜在能力が十分に発揮されているとは言えない状況です。真田宝物館のリニューアル計画を地域の文化・観光振興の起爆剤とした一方で、観光拠点として完成させるためには、周辺の文化施設群を合わせて活用し、地域全体としての統一感ある魅力を構築する必要があります。
- そこで、各文化施設においては保存を大前提に、現代的な利用スタイルの要素も取り入れたリニューアルを検討し、観光客・地域住民に愛される歴史・文化・交流の場へと生まれ変わらせることを目指します。



## 調査の目的

- 本調査は、上記2つの事業化検討にあたり、長野市が企画・実施する従来型の公共事業ではなく、市内外の民間事業者と連携し、民間ノウハウを活用しながらより魅力的でより効果的な事業実施を検討するため、事業の実現可能性や課題、必要条件等の把握を目的としています。

# 松代地区の概要



# 松代地区の概要 (2 / 2)



## 松代地区の観光資源



松代温泉



甲冑着付け体験



松代焼



象山地下壕



真田邸 (夜間ライトアップ)



文武学校 (武道での利用)



文武学校 (砲術体験)



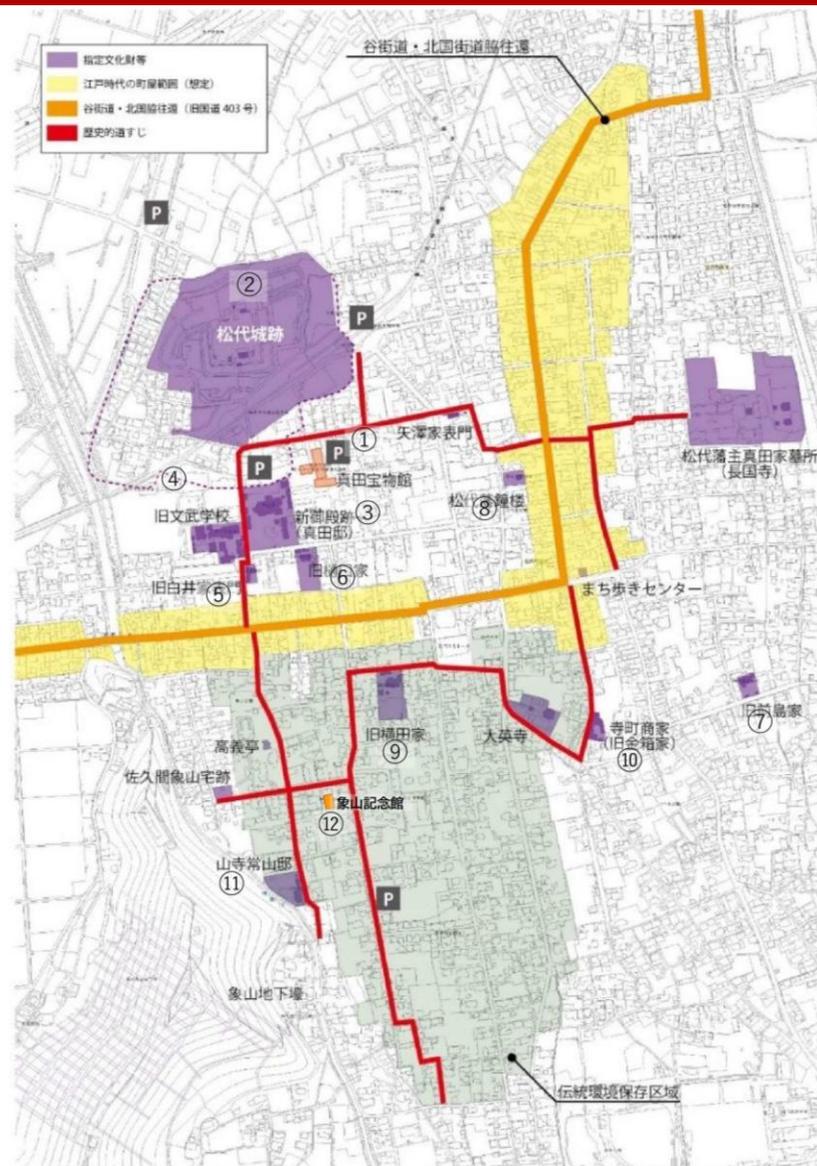
## 「エコール・ド・まつしろ」の取組み

松代の町全体を「大人のための学びの場＝遊学城下町」と位置付け、文化財施設を活かした歴史文化体験を、全国から訪れた方々に体験していただく市民活動です。弓道や古武道の体験、華道・茶道・香道の体験、着物・甲冑の着付けなど、多彩な体験プログラムを提供しています。

# 対象施設の位置図



No	施設	名称	文化財種別	有料 無料	備考
①		真田宝物館	(博物館)	有料	
②		松代城跡	国史跡	無料	都市公園
③		真田邸 (新御殿跡)	国史跡	有料	
④		文武学校	国史跡	有料	
⑤		旧白井家表門	市指定	無料	
⑥		旧樋口家住宅	市指定	無料	一部管理委託
⑦		旧前島家住宅	県宝	無料	一部管理委託
⑧		旧松代藩鐘楼	市指定	無料	
⑨		旧横田家住宅	国重文	有料	
⑩		寺町商家	市指定	無料	指定管理 (R5-R9)
⑪		山寺常山邸	国登録	無料	一部管理委託
⑫		象山記念館	(博物館)	有料	休館中



松代文化施設 位置図

# 想定される事業内容



## 真田宝物館の特徴と現状

- 真田宝物館の有する真田家伝来の大名道具は約5万点あり、初代藩主・真田信之以降、約250年にわたる統治により、甲冑・刀剣などの武具類、屏風・掛軸などの書画類、婚礼道具・日用品も含めた調度品類、古文書や古典籍など、戦国期から近代まで、全国でもトップクラスの資料があります。
- 寄贈・寄託資料は、松代藩士家、商家、佐久間象山関係資料、松代焼などさまざま、真田十万石の城下町として発展してきた多角的な歴史像をうかがうことができます。
- 真田家は、戦国時代に信濃の小領主から大名へと台頭したこともあり、武勇に秀でた家柄として知られています。また、松代藩士の佐久間象山は、幕末期の思想家であり、勝海舟、吉田松陰、坂本龍馬など、多くの門下生を育成したことで、知られています。
- 建物の老朽化、防災設備・収蔵スペースの不足等により、リニューアルを予定しますが、単なる施設修繕ではなく、新たな機能強化が求められています。
- リニューアルでは、新たな機能の追加や収蔵スペースの増設等を想定しています。





真田宝物館のリニューアルに伴い市が期待したいもの

## CONCEPT\_1

### 真田宝物館の建替えによる ブランドイメージの刷新

✓ 新たな真田ファンの獲得と、深層ニーズ掘り起こし

～松代の真田物語を発信～

✓ 幕末の俊英たちをリードした佐久間象山を発信

～象山記念館との統合～

#### ■ リニューアル後の「真田宝物館」に求めるもの

- 豊富な収蔵品を活かした魅力的な展示や、江戸時代の大名文化を体感できる新たな施設として、幅広い来訪者が学んで楽しめる施設。
- 真田家の歴史文化と功績を再評価し、その魅力を新たな「真田ブランド」として情報発信し、新しいコンテンツの開発や、新規ファンの獲得。
- 松代城下町における「文化観光の拠点」として、宝物館を起点に松代のまち巡りを促進することで、地域全体の観光体験価値の向上。
- ただ「見る」だけの観光ではなく、「体験型観光」の拡大・充実により、歴史文化を深く楽しむ機会を創出し、国内外への情報発信強化。
- カフェやレストラン、売店等を併設し、ゆっくり滞在できる環境整備。

## CONCEPT\_2

### 文化観光の発信・創造拠点としての 機能強化

✓ 展示設備の機能強化

～城下町で学ぶ～

～次世代型コンテンツ体験～

✓ 城下町の文化観光拠点

～文化観光の情報発信～

～まち巡りの起点～

※ 上記は現時点での案であり、今後、民間事業者との対話結果によって、「真田宝物館のリニューアルに伴い市が期待したいもの」は変更する場合があります。

# 真田宝物館のリニューアル事業（3 / 4）



## PPP手法による事業実施の検討

- 真田宝物館の再整備においては、民間事業者のノウハウを最大限に活用させるため、PPP/PFI手法での事業実施を検討します。  
※ PPP手法とは…公共（Public）・民間（Private）・連携（Partnership）の略称で、官民で連携して推進する事業の総称のこと
- デザインとコストのバランスの取れた施設計画や効率的な維持管理、運営・企画を見越した施設設計等を実現するため、設計～建設～維持管理・運営までを一括して発注する手法を前提に、本事業に効果的な事業手法を検討します。

	DBO方式	PFI方式
概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>• PPP手法の1つで、設計（Design）～建設（Build）～維持管理・運営（Operate）を一括発注する手法。</li> <li>• 事業にかかる資金調達はすべて市が実施する。</li> <li>• 契約は、各企業と設計・建設にかかるものと、維持管理・運営にかかるものの2つを締結（又は一括契約）する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• PPP手法の1つで、Private Finance Initiativeの略称。</li> <li>• 設計～建設～維持管理・運営を一括発注するが、事業にかかる資金調達は市・民間が実施する。</li> <li>• 費用の一部を民間が資金調達し、事業年度（15～20年）にかけて割賦払いくことで、事業負担の平準化が可能。</li> <li>• 契約は、SPC（特別目的会社）と一括で締結し、SPCが構成企業に対して各業務の委託契約を締結する。</li> <li>• SPC組成により、リスク分担の明確化と事業安定化に期待できる。</li> </ul>
スキーム図	<p>長野市</p> <p>契約 基本協定 契約</p> <p>サービス対価・モニタリング</p> <p>設計会社・建設会社（JV） 維持管理会社・運営会社</p> <p>選定グループ</p> <p>料金 サービス提供 利用者</p>	<p>長野市</p> <p>直接協定 金融機関等 資金調達</p> <p>事業契約</p> <p>サービス対価・モニタリング</p> <p>SPC（特別目的会社）</p> <p>料金 サービス提供 利用者</p> <p>出資 委託契約</p> <p>設計会社 建設会社 維持管理会社 運営会社</p> <p>構成企業</p>

# 真田宝物館のリニューアル事業（4 / 4）



## 事業範囲の想定案

- 真田宝物館では文化財や歴史的資料を取扱うことから、官民の適切な業務負担の区分が必要です。
- 業務内容の多くを民間事業者になす学芸業務については市が実施することを想定しています。
- 市の財政負担を軽減できるような提案（クラウドファンディングや寄付など）を積極的に受け付けたいと考えています。

想定される主な業務内容	実施主体	備考
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 設計業務                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事前調査業務、各種申請・許認可手続き業務</li> <li>・ 基本設計・実施設計業務</li> </ul> </li> </ul>	民間事業者	提案段階で予定プランを提出いただく想定
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 建設業務                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新施設の整備、現施設の解体工事、工事監理業務</li> <li>・ 引渡し業務、什器備品設置業務</li> </ul> </li> </ul>	民間事業者	ディスプレイ用備品も含めて調達いただく想定
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 開業準備業務                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 業務計画作成業務、広報業務、開館式典準備業務</li> <li>・ 移転支援業務</li> </ul> </li> </ul>	民間事業者	収蔵品の移転は長野市が実施する想定。 移転計画の作成等を民間にて実施する想定。
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 統括マネジメント業務                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業全体の調整業務、経理業務、セルフモニタリング業務</li> </ul> </li> </ul>	民間事業者	
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 維持管理業務                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各種保守管理業務、清掃業務、警備業務、修繕</li> </ul> </li> </ul>	民間事業者	展示物の清掃は学芸業務にて実施する想定
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 運営業務                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 利用者案内業務、貸館業務、企画支援業務、集客促進業務、HP管理業務、ブランディング業務 等</li> <li>・ 学芸業務（収蔵管理、調査研究、展示、展示清掃 等）</li> <li>・ 飲食提供業務、ミュージアムショップの企画・運営業務</li> </ul> </li> </ul>	民間事業者	長野市と連携しながら実施することを想定
	長野市	長野市の責任において実施する想定
	民間事業者	実施可能性について本調査で確認

# 文化施設の利活用事業（1 / 2）



## 利活用の基本方針（案）

## CONCEPT

### 歴史的資産を守りつつ、新たな価値創造と魅力を最大化

保存を大前提としながら、松代の歴史的資産と魅力を最大限に引き出し、文化的価値を活用するため、現代的な利用スタイル（ショップやレストラン、ギャラリー、宿泊施設など）の新機能を加えることで、地域の歴史文化を核とした観光振興と地域活性化を目指します。

## IMAGE

### 幅広い活用・新たな挑戦の可能性を検討

#### ～宿泊～

歴史文化が体感できる旅館として、施設限定の宿泊サービスを提供。落ち着いた滞在型観光の拠点へ。

#### ～食～

地元の食文化をテーマにしたレストラン・カフェとして展開し、地元食材を使ったメニューを提供。食文化の魅力を発信。

#### ～体験～

静かな庭や邸宅を活かし、茶道や陶芸など伝統文化の体験型施設として活用。

#### ～活用～

レンタルスペースとしてアーティストやクリエイターのギャラリーとして提供。マーケットや展示販売なども企画。

#### ～販売～

商家の歴史を活かしたショップ・レンタルスペースとして活用。地元特産品や工芸品等を販売。

#### ～撮影～

アートインスタレーション等と組み合わせたフォトスポットとして整備。

#### ～企画～

イベントスペースとして整備。歴史祭りや体験イベントを開催し、観光資源化。

※ 上記は現時点での案であり、今後、民間事業者との対話結果によって、利活用の基本方針（案）やイメージは変更する場合があります。

※ 文化施設はそれぞれ国指定史跡や重要文化財、長野県宝、長野市指定有形文化財などに指定・登録されていることから、改修や改造を行うにあたって制約が生じるとともに、文化庁・県・市との調整が必要です。

# 文化施設の利活用事業（2 / 2）



## スモールコンセッションによる施設の利活用

- ▶ 文化施設の活用においては、民間事業者のノウハウを最大限に活用させるため、スモールコンセッションでの事業実施を検討します。
  - ※ スモールコンセッションとは…廃校等の空き施設や地方公共団体が所有する古民家等の活用について、民間事業者の創意工夫を最大限に生かした小規模な官民連携事業により、地域課題の解決やエリア価値の向上につなげる取組です。公有財産を民間事業者が活用できる手法には限りがありますが、これらの手法を総称したものを指します。
- ▶ 以下は現時点で想定されるスモールコンセッションの一例ですが、施設の活用可能性や活用策に応じて、適切な事業手法を選定します。
- ▶ なお、市の財政負担を軽減するため、民間事業者による独立採算型での事業実施の可能性も検討します。

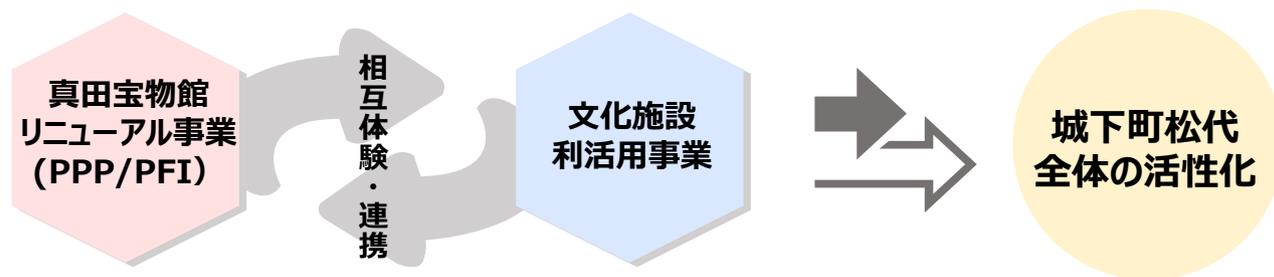
	指定管理者制度	コンセッション方式	賃貸借方式	RO方式
概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 民間企業等を指定管理者として指定し、公の施設の管理・運営を民間事業者へ委託する制度。</li> <li>• 民間事業者による利用料金の徴収が可能（公の施設として、条例による利用料金の設定が必要）。</li> <li>• 市が指定管理料を支払うかどうかは事業内容による。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 施設の運営権を設定し、特定の期間、民間事業者へ運営権を譲渡する方式。</li> <li>• 民間事業者は運営権対価を行政に支払う。</li> <li>• 施設の所有権は市に残るが、民間事業者が事業リスクを負担する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 賃貸借契約により、市が民間事業者に施設を貸し付ける方式。</li> <li>• 民間事業者は貸付料を行政に支払う。</li> <li>• 施設の運営や収益化は民間事業者に依存する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 改修（Rehabilitate）と管理運営（Operate）の略称で、施設の改修工事と管理運営を一括して発注する方式。</li> <li>• 公共工事として実施するため、建設企業が事業に参画する必要がある。</li> <li>• 管理運営に必要な経費は行政又は民間事業者が負担する（事業内容による）。</li> </ul>
スキーム図				

# 事業のバンドリングについて



## バンドリングの検討

- 現在、リニューアルや利活用を対象としている施設は総数が多いため、それぞれを別々で発注すると統一感を以て事業を遂行することが難しくなることが予想されます。
- 新たな真田宝物館を中心に、多くの文化施設との連携や相乗効果を発揮させながら、エリア全体を新たな観光地としての魅力を再形成するため、複数の事業を一定程度まとめた上で構築（バンドリング）することを想定しています。
- 次に示す3つのイメージはバンドリングの案ですが、これによらず、事業の相乗効果の発揮や効率性を向上させる組み合わせについても検討します。
- 検討にあたっては、公共側が一方向的に設定するのではなく、本調査において実現可能性や民間事業者の動向等を調査した上で、適切な形を模索します。



すべての施設・事業を1つにまとめて発注することで、事業全体全体の統一感を確保する。

パターン①

真田宝物館リニューアルによる観光拠点の形成  
+  
まちなか文化施設と連携した体験型観光の実現

### 真田宝物館 PPP/PFI事業

真田宝物館・休憩所

象山記念館

### 文化施設 利活用事業

真田邸

文武学校

旧横田家  
住宅

旧前島家  
住宅

旧樋口家  
住宅

山寺常山邸

寺町商家

松代城跡

旧白井家  
表門

旧松代藩  
鐘楼

# 事業のバンドリングについて



## バンドリングの検討

パターン②

真田宝物館周辺の施設・事業を集約させることでのPFI事業効果の最大化と、文化施設の利活用事によるエリアの魅力拡大。

真田宝物館・真田公園を中心とした観光拠点の形成  
+  
真田邸や文武学校と連携した体験型観光の実現

### 真田宝物館 PPP/PFI事業

真田宝物館・休憩所

象山記念館

### 文化施設 利活用事業

真田邸

文武学校

松代城跡

旧松代藩鐘楼

文化施設を現代型の利用サービスにアップデートし、観光地としての新たな魅力を創出

### 文化施設 利活用事業

旧横田家住宅

旧前島家住宅

寺町商家

旧樋口家住宅

山寺常山邸

旧白井家表門

パターン③

公共事業の側面が大きいPFI事業と、民間事業の側面が大きい事業を切り分けることで、それぞれのノウハウを最大化。

真田宝物館・真田公園を中心とした観光拠点の形成

### 真田宝物館 PPP/PFI事業

真田宝物館・休憩所

象山記念館

### 文化施設 利活用事業

松代城跡

旧松代藩鐘楼

文化施設を現代型の利用サービスにアップデートし、観光地としての新たな魅力を創出

### 文化施設 利活用事業

真田邸

文武学校

旧横田家住宅

旧前島家住宅

寺町商家

旧樋口家住宅

山寺常山邸

旧白井家表門

# 今後のスケジュール案

# 今後のスケジュールについて



## スケジュール

- 本調査では、公募型サウンディングの公表⇒説明会の開催⇒個別ヒアリング⇒最終評価、の流れで実施します。
- 公募型サウンディングでは、本事業への関心を持つ様々な業種の企業から、幅広く意見を収集します。
- 対話では、ヒアリングの内容を公開せず、各企業と個別に実施します。
- 公募型サウンディングの結果を踏まえ、事業の最終評価を行い、事業スキーム案を検証します。
- 総合評価をもとに、次年度以降に松代地区にふさわしい管理運営方法等を検討し、決定します。



# 資料編

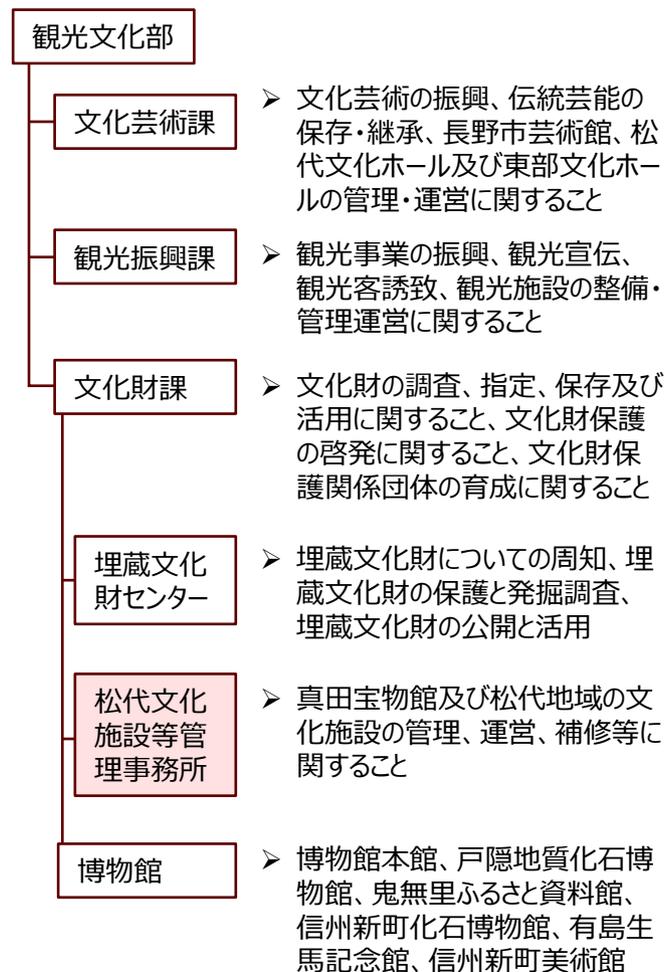


# 真田宝物館・文化施設の概要

# 真田宝物館及び文化施設の管理・運営体制



## 組織図



## 管理・運営にかかる人数（令和7年現在）

区分	職種	人数	主な業務内容
正規職員	事務	2人	<ul style="list-style-type: none"> <li>所長補佐（管理事務所の総括補佐、庶務・予算・財産使用ほか）</li> <li>専門員（庶務・予算、文化施設管理ほか）</li> </ul>
	学芸員	2人	<ul style="list-style-type: none"> <li>所長（管理事務所の総括、文化施設の保護・管理・公開学芸ほか）</li> <li>係長（管理事務所の庶務・予算管理、文化施設の保護・管理・公開学芸ほか）</li> </ul>
非常勤職員 （会計年度任用職員）	事務補助	2人	<ul style="list-style-type: none"> <li>管理事務所の庶務・予算に関することの補助</li> </ul>
	研究員	2人	<ul style="list-style-type: none"> <li>松代文化施設等の保護・管理・公開等学芸に関することの補助</li> </ul>
	研究員補助	2人	
	施設維持管理	1人	<ul style="list-style-type: none"> <li>各施設の維持管理・修繕等に関すること</li> </ul>
	受付（7.25h）	13人	<ul style="list-style-type: none"> <li>有料施設の受付・案内業務、入場料の徴収、施設美化（草取り等）・清掃</li> </ul>
合計		24人	

# 開館時間・使用料・利用料金の設定 (1 / 2)



## 開館時間・料金設定

- 開館時間・休館日は以下のとおりです。
  - 開館時間：4月～10月…9時～17時（入館は16時30分まで） 11月～3月… 9時～16時30分（入館は16時まで）
  - 休館日：真田宝物館・象山記念館…毎週火曜日、年末年始 真田邸・文武学校…年末年始
- 真田宝物館及び文化施設には入館料・使用料の2種類の設定があります。
  - 「入館料」：入場ごとに料金を徴収
  - 「使用料」：時間・部屋ごとに料金を徴収

### 【入館料の設定】

施設名・区分	小中学生 個人	小中学生 団体	個人	団体 ※20名以上
真田宝物館	100円	50円	600円	500円
真田邸			400円	300円
文武学校				
旧横田家住宅				
共通券（2館） 真田邸・文武学校			600円	500円
共通券（3館） 真田宝物館・真田邸・文武学校			1,100円	900円

- ※ 表示料金は1名につき。団体は20名以上の一人あたりの料金。
- ※ 毎週土曜日と5月5日（こどもの日）は小中学生無料。
- ※ 9月第3月曜日（敬老の日）と11月3日（文化の日）は全施設無料。
- ※ 当日のみ再入場可。

# 開館時間・使用料・利用料金の設定 (2 / 2)



## 料金設定 (使用料)

- 専用使用では、記念用写真撮影や武術大会、面接会場、展示・販売会、生涯学習講座などの様々な用途で使用することができます。
- 寺町商家は指定管理者制度による施設管理のため、指定管理者が利用料金を収受しています。

### 【専用料の設定】

施設名		利 用 時 間		
		午前 9時～13時	(4月～10月) 13時～17時	(4月～10月) 9時～17時
真田邸	御役所	5,000円	5,000円	10,000円
			4,500円	9,500円
文武学校	文学所	10,000円	10,000円	20,000円
			9,000円	19,000円
	槍術所	8,000円	8,000円	16,000円
			7,200円	15,200円
	弓術所	4,000円	4,000円	8,000円
			3,600円	7,600円
剣術所	6,000円	6,000円	12,000円	
		5,400円	11,400円	
旧横田家住宅	主屋	5,000円	5,000円	10,000円
	隠居屋		4,500円	9,500円

施設名		午前	午後	全日
		9時 ～13時	13時 ～17時	9時 ～17時
寺町 商家	台所	650円	650円	1,300円
	奥座敷			
	次座敷			
	入側	1,550円	1,550円	3,100円
	北乃蔵			
	表座敷	500円	500円	1,000円
	学問所			
	質蔵			

# 真田宝物館・文化施設の入場者数



## 入場者数の推移（令和2年度～令和6年度）

区分	R2	R3	R4	R5	R6	備考
真田宝物館	19,513人	20,494人	35,469人	33,357人	36,664人	
真田邸	22,608人	22,184人	40,920人	35,466人	44,188人	
文武学校	10,825人	18,500人	26,779人	23,298人	27,125人	R2.4~9休館
旧白井家表門	－	135人	1,257人	2,184人	2,048人	R2ボランティア活動休止
旧横田家住宅	－	3,004人	4,300人	2,409人	491人	R2,R5.10~R6.12休館
象山記念館	3,007人	2,512人	4,587人	3,611人	3,616人	R6.12~休館
松代城跡	103,800人	114,570人	177,240人	149,440人	150,240人	
山寺常山邸	12,590人	15,508人	19,933人	20,607人	24,640人	
旧樋口家住宅	9,290人	8,683人	14,002人	15,337人	16,892人	
旧前島家住宅	2,356人	1,987人	2,379人	3,474人	3,543人	
松代藩鐘楼	－	55人	110人	208人	240人	
寺町商家	2,384人	2,910人	3,938人	6,038人	6,956人	



## 建物利活用の件数（令和6年度実績）

区分	件数	区分	件数	区分	件数
真田邸	18件	旧樋口家住宅	186件	松代城跡	12件
文武学校	99件	旧前島家住宅	64件		
山寺常山邸	65件	松代藩鐘楼	8件		

# 令和6年度の実施事業（1 / 3）



区分		事業の内容	開催期間	参加人数
特別展	特別展示	「象山、何者?!」	9月25日～12月16日	10,858人
特別展 教育・普及事業	講演会	「藩研究からみた佐久間象山 ー近世後期の幕藩政治と真田幸貫・松代三山ー」	10月19日	51人
	体験学習・ ワークショップ	「塩水電池をつくろう、エレクトルを体験しよう!」	10月26日	8人
	ギャラリートーク	展示解説	9月25日・28日、11月6日・9日	80人
企画展・常設展	企画展示	「真田家の守り神 白鳥神社」	4月17日～6月23日	7,818人
		「真田家のデザイン」	6月29日～9月23日	10,816人
		「松代ゆかりのおひなさま」	12月18日～4月14日	6,341人
	ギャラリートーク	展示解説	4月17日・20日、6月29日、7月3日、12月18日・21日	96人
	常設展示	「真田家の歴史と文化」（年4回の展示替え）…真田家の歴史、大名道具		—
		「佐久間象山とその時代」（年3回の展示替え）…象山とその時代 佐久間象山遺墨コレクション（坂本氏寄贈資料を中心に）（象山記念館で実施）		—
特別展示	「重要文化財 青江の大太刀」	4月17日～5月20日	—	
	ひな人形の展示（文武学校、真田邸、旧横田家住宅など）	3月3日～4月3日	—	
企画展・常設展 教育・普及事業	子ども博物館	「真田宝物館であそぼ! 2024」（真田宝物館、真田邸、文武学校、樋口家住宅、旧白井家表門）	7月24日	435人
		真田宝物館チャレンジクイズ	常時開催	—
		甲冑のレプリカ着用体験	5月11日	11人
		「お気に入りのデザインで布しおりを作ろう」	8月8日	20人
		「貝合わせをつくって遊んでみよう!」	3月29日	9人
		「武士・お姫さまになってみよう!」「着物の模様スタンプであそぼう!」	常時開催	—

# 令和6年度の実施事業（2 / 3）



区分		事業の内容	開催期間
教育・普及事業	資料のデジタルアーカイブ化	長野市デジタルミュージアム「ながの好奇心の森」推進事業	常時
	教育支援活動	長野市立長野高校 歴史講座「ながのろじー」講師派遣	8月29日、9月5日、10月3日
	デジタル教材活用推進	「ながの好奇心の森」を活用した小・中・高の授業支援	11月20日、12月20日
	古文書講座	古文書解読講座（松代支所で実施）	概ね月1回（上級講座、初級講座）
収蔵資料の維持・管理	刀剣の手入れ	所蔵刀剣の研磨（年1回） 薙刀銘兼定の研磨・白鞘作成	5月20日
	資料購入	旧飯沼美術館所蔵 真田家大名道具資料の購入	
	害虫処理及び環境調査	害虫処理と環境調査（収蔵庫及び展示室の清掃・環境調査）	6月24日～28日
ボランティア活動推進事業		ガイド活動、旧白井家表門でのガイド及び湯茶接待、真田邸土蔵体験工房（第1,3水曜日、第1,3土曜日）	常時
		研修旅行、新規ボランティア養成講座補助	6月8日、10月27日～28日 2月10日、17日
		真田邸の襖・壁の下張り文書の整理作業、資料整理作業	毎週木・金曜を中心に実施。
調査・研究事業	基幹調査	国文学研究資料館 真田家文書の調査	1月31日、2月12日～13日、3月27日～28日
		新御殿（真田邸）襖・壁下張文書の整理・調査・目録作成、真田家文書の解読・データ化（御側御納戸日記）、寄贈・寄託資料の整理・目録作成	常時
		長野市災害復興支援事業（被災した屏風の下張り文書の整理・調査・目録作成）	毎週木・金曜を中心に実施。
	博学連携	「国文学研究資料館基幹研究プロジェクト 松代真田家文書及び松代八田家文書などの地域史料の保全・活用研究」の参加。	10月1日～10月3日、3月12日～3月14日

# 令和6年度の実施事業（3 / 3）



区分		事業の内容	開催期間
調査・研究事業	博学連携	真田連句を読む会（松代公民館で実施）	毎月第2木曜日
		真田家伝来の典籍調査（信州大学による実施）	9月11日～13日、3月16日～18日
		『戦国遺文 真田氏編』（東京堂） 刊行協力 ※編集中	—
図書出版事業		特別展図録「象山、何者?!」…1,000部	—
		年報・紀要「松代」38号…600部	—
		真田宝物館だより「六連銭」No.51、52…各2,500部	—
		収蔵品目録「真田家旧蔵資料目録-調度3-」…1,000部	—
		宝物館であそぼ！パンフレット…20,000部	—
ミュージアムグッズ販売事業	オリジナルグッズの作製	源氏かるた手帳(500個)、マスキングテープ（白・黒、各2,000個）、A5クリアファイル(1,000枚)、A4クリアファイル(2,200枚) ハンドタオル（赤）(400枚)、手ぬぐい(1000個)	—
資料の貸出、利用		<ul style="list-style-type: none"> <li>・刈谷市歴史博物館「刈谷生まれの雪の殿さま 土井利位」</li> <li>・関ヶ原古戦場記念館「関ヶ原のキセキ—よみがえる関ヶ原合戦—」</li> <li>・福井市立郷土博物館「鉄の名工 越前明珍展」</li> <li>・安城市歴史博物館「地震と災難-宝永地震から三河地震まで-」</li> <li>・長野県立歴史館「佐久間象山遺墨展～書は人なり～」</li> <li>・山梨県立博物館「武田勝頼—日本に隠れなき弓取」</li> </ul>	—
施設の利活用		建物等の利活用、収蔵資料の特別利用（調査研究のための資料閲覧15件、資料写真・画像提供91件）、映画ロケ地利用	—
アウトリーチ活動	講演会講師派遣	NPO法人夢空間「松代学講座」、松代公民館「海津大学」、長野県カルチャーセンターなど	—
	原稿寄稿	建設ながの（隔月）、・市誌研究ながの第30号（令和7年3月発行）、・『信州の祭礼絵巻』	—

# 松代地区での観光振興施策（参考）



## 長野市観光振興計画 実践プロジェクト【松代地区】

### 宿泊客のまちなか周遊促進プロジェクト

#### 1 プロジェクトの趣旨

地域に宿泊する観光客がまちを周遊し、歴史文化の体験コンテンツにより滞在時間を延ばすことで、地域における観光消費増加を図る。

#### ◆成果指標

成果指標	基準値	R8目標値
松代地区の入込客数（千人）	545	556
松代地区来訪客の平均滞在時間	1時間41分	2時間11分

※平均滞在時間は平成29～令和元年度の平均値、目標値は30分の上昇値

#### 2 令和6年度の実施内容

##### ① ターゲットを絞ったEバイクコンテンツの磨き上げ

- ・「いつでも気軽に立ち寄ってすぐ楽しめる」コンテンツとして、Eバイク利用と、そのための環境整備に着手。
- ・インバウンドやスマートフォンを使いこなせる世代にターゲットを絞り、サイクリング用アプリを使ったコースを開発。
- アプリの主な内容：サイクリングマップ、コース、各スポットの写真、そこで楽しめるコンテンツ情報

#### 〈課題・展望〉

- ・基盤は整ったため、今後はターゲットに訴求するEバイクの楽しみ方を提案。



▲戦国タイムスリップコース：典厩寺

##### ② 文化財を活用したコンテンツの開発・販売（真田家プレミアムバスツアー）

- ・昨年度ツアーをブラッシュアップして継続開催。真田邸での食事、長國寺の霊屋内陣の拝観など、特別体験を提供。

■日程：10/25、11/7、8

計3日開催

■参加者：3日間の合計で41人  
（去年より19人増）



▲長國寺霊屋のガイドの様子

#### 〈課題・展望〉

- ・早めの市外PR（東京・名古屋・関西）、および上田市・沼田市など真田ゆかりの地へのチラシ配布により、参加者が増加傾向。
- ・ツアーの評価は高いが、民間での自立運営が課題。

#### 3 総括と今後の方向性

##### ① インバウンド/若者向けEバイクコンテンツの魅力発信

- ・インバウンド向けに、歴史、侍文化を楽しめる内容、スマートフォンを使いこなせる世代にターゲットを絞り、インスタ映えする景色などを提案し、レンタル利用客増加を図る。
- ・松代地区のホテルに宿泊したインバウンド客に、山之内（スノーモンキー）へ行く前後で松代滞在を楽しんでもらうなど、ホテル連携の誘客を企画。

##### ② 真田家プレミアムバスツアーの継続開催

- ・主な顧客層である高齢の歴史好きな方々への効率的な宣伝を企画。今後の継続性や集客力向上につながる方法を模索する。
- ・開催時期や回数の増加を検討する。

##### ③ 松代真田家400年の歴史体験コンテンツプロモーション

- ・開発したコンテンツを地元ホテル等と連携しプロモーションを行う。ツアーが恒常的に開催されるよう、旅行会社等と連携して販路開拓を図る。



## 真田宝物館で販売しているグッズ（一部）

- 真田宝物館では、真田をモチーフにしたオリジナルグッズを販売しており、通信販売にも対応しています。
- 年間約280万円程度を売り上げています。



アクリル根付



クリアファイル



トートバッグ



ハンドタオル



扇子



マスキングテープ



手ぬぐい

# 各施設の情報

# ①真田宝物館（1 / 7）



## ポイント

- ✓ 松代藩真田家伝来の大名道具ほか、収蔵資料は約5万点以上、大名道具を収蔵する博物館施設としてはトップクラスの数誇る。
- ✓ 平成28年度には、大河ドラマ「真田丸」の効果で来場者数約22万人を記録。
- ✓ 近隣に真田公園や真田邸、文武学校等があり、一体的な活用も期待される。
- ✓ 軟弱地盤及び千曲川の氾濫への対策が必須。
- ✓ 建物の老朽化が深刻である。

所在地	〒381-1231 長野市松代長松代4-1	
敷地面積（延床面積）	約3,900㎡（宝物館：1,895.6㎡ 休憩所：124.21㎡）	
建築年度	北展示室：S52年 南展示室：S38年(校舎を改修) 収蔵庫：S63年	
年間来場者数	36,664人（宝物館のみ）（令和6年度実績）	
年間支出 （令和6年度実績） ※他の文化施設とあわせて支出している費目。	職員人件費	36,019千円
	会計年度任用職員人件費 ※	59,836千円
	特別企画展費	5,073千円
	図書出版費	949千円
	ボランティア活動推進費	1,835千円
	展示物等改善費・収蔵品管理費	2,930千円
	維持管理費・車両管理費	24,395千円
	光熱水費	4,340千円
	文化施設修繕費 ※	1,035千円
	支出計	136,412千円
年間収入 （令和6年度実績）	入場料	15,328千円
	雑収入（グッズ販売、イベント参加費など）	2,764千円
	収入計	18,092千円
管理形態	直営	
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 受付体制：平日2人（7.25h）／土日祝日2~3人（7.25h）</li> <li>• 真田宝物館休憩所について： <ul style="list-style-type: none"> <li>- 1階は観光案内所として、信州松代観光協会に無償貸与。</li> <li>- 2階は商工会議所に有償貸与（飲食店が入居中）。</li> </ul> </li> </ul>	

# ①真田宝物館（2 / 7）



## 収蔵資料

資料種別	点数
楽器	48
能道具	19
茶道具	132
香道具	26
遊具	29
調度	447
服飾	220
武具	453
刀剣	67
折紙	98
機械	18
勲章	4
書画	597
肖像	22
図書	147
典籍	4051
古文書（県宝指定）	381
〃（県宝指定外）	1259
その他文書	17,480
合計	25,498

	件数	点数
寄贈	271	41844
購入	21	240
寄託	39	1270
借用	1	3
未整理	34	

長持・箆笥 112点

真田邸襖・壁紙下張 約10500点



### 指定文化財

区分	名称	種別	登録年月日	所蔵
国指定重要文化財	大太刀（青江）	工芸品	昭和36年2月7日	真田宝物館
県指定	短刀 吉光	工芸品	平成3年2月14日	真田宝物館
	刀 無銘（三原）	工芸品	平成3年2月14日	真田宝物館
	真田家文書（計381点）	古文書	昭和47年4月27日	真田宝物館
	玉依比売命神社児玉石	工芸品	昭和44年10月2日	真田宝物館寄託
	市指定	佐久間象山筆 桜賦	書跡	昭和47年3月1日
市指定	松代焼コレクション	有形民俗文化財	昭和47年3月1日	真田宝物館
	小山田家文書	古文書	平成19年3月15日	真田宝物館
	内山家文書	古文書	平成19年3月15日	真田宝物館
	東光寺文書	古文書	昭和55年6月2日	真田宝物館寄託
	佐久間象山筆紙本水墨山水図	絵画	昭和47年3月1日	真田宝物館寄託
	海野家文書	古文書	昭和55年6月2日	真田宝物館寄託

# ①真田宝物館（3 / 7）



建築面積及び延床面積の内訳

区分	建築面積 (m <sup>2</sup> )	延床面積 (m <sup>2</sup> )
ア 旧館	314.09	628.18
イ 渡り廊下	9.95	30.30
ウ 新館	780.56	919.38
エ 渡り廊下	7.34	10.79
オ 収蔵庫	248.73	355.42
カ 機械室	3.88	3.88
キ 案内所	82.81	124.21
合計	1447.36	2072.16

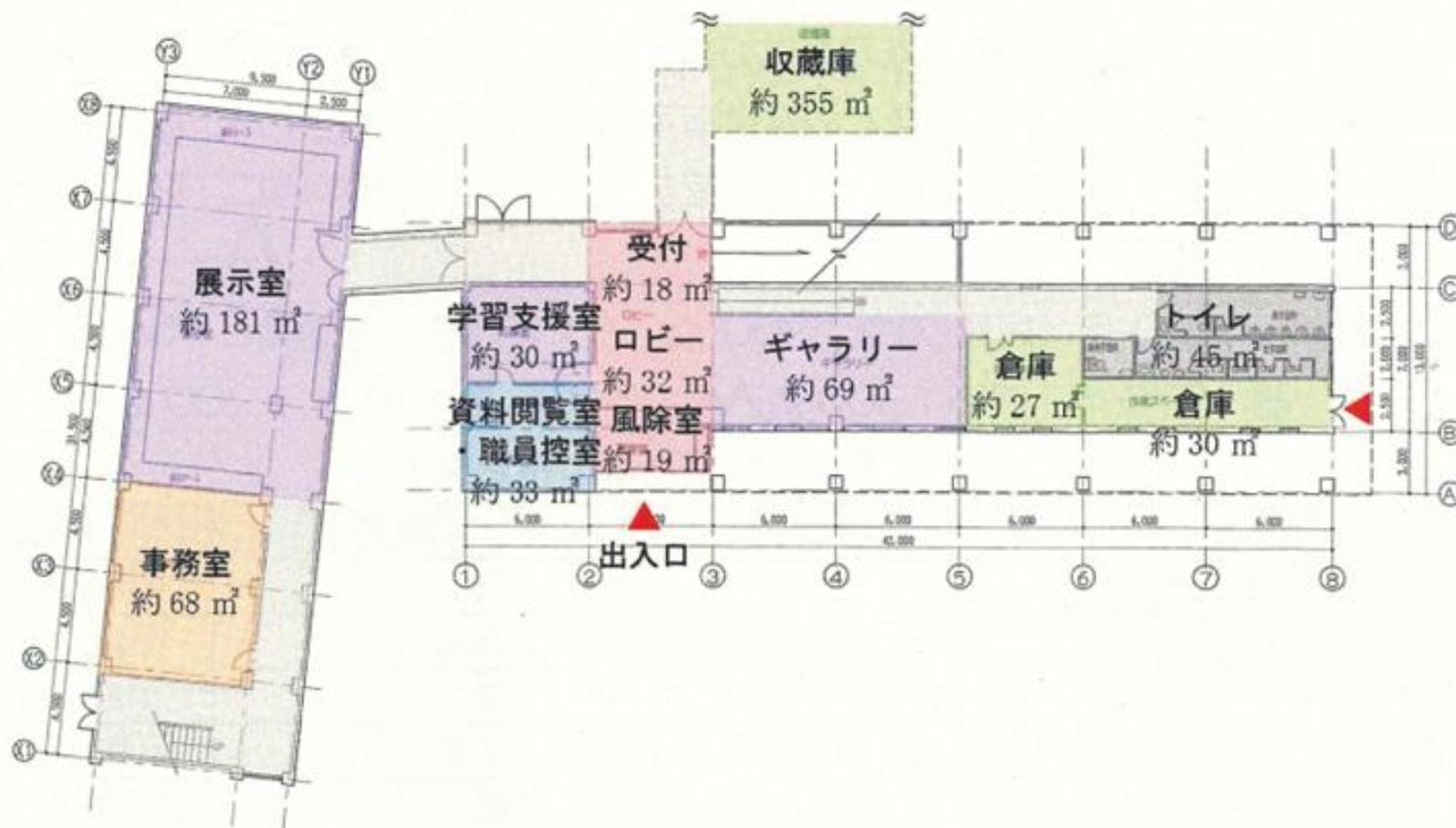
※この表に示す面積は「市有劣化建物診断（平成13年度）」に基づく数値

# ①真田宝物館（4 / 7）



平面図（1階）

1階

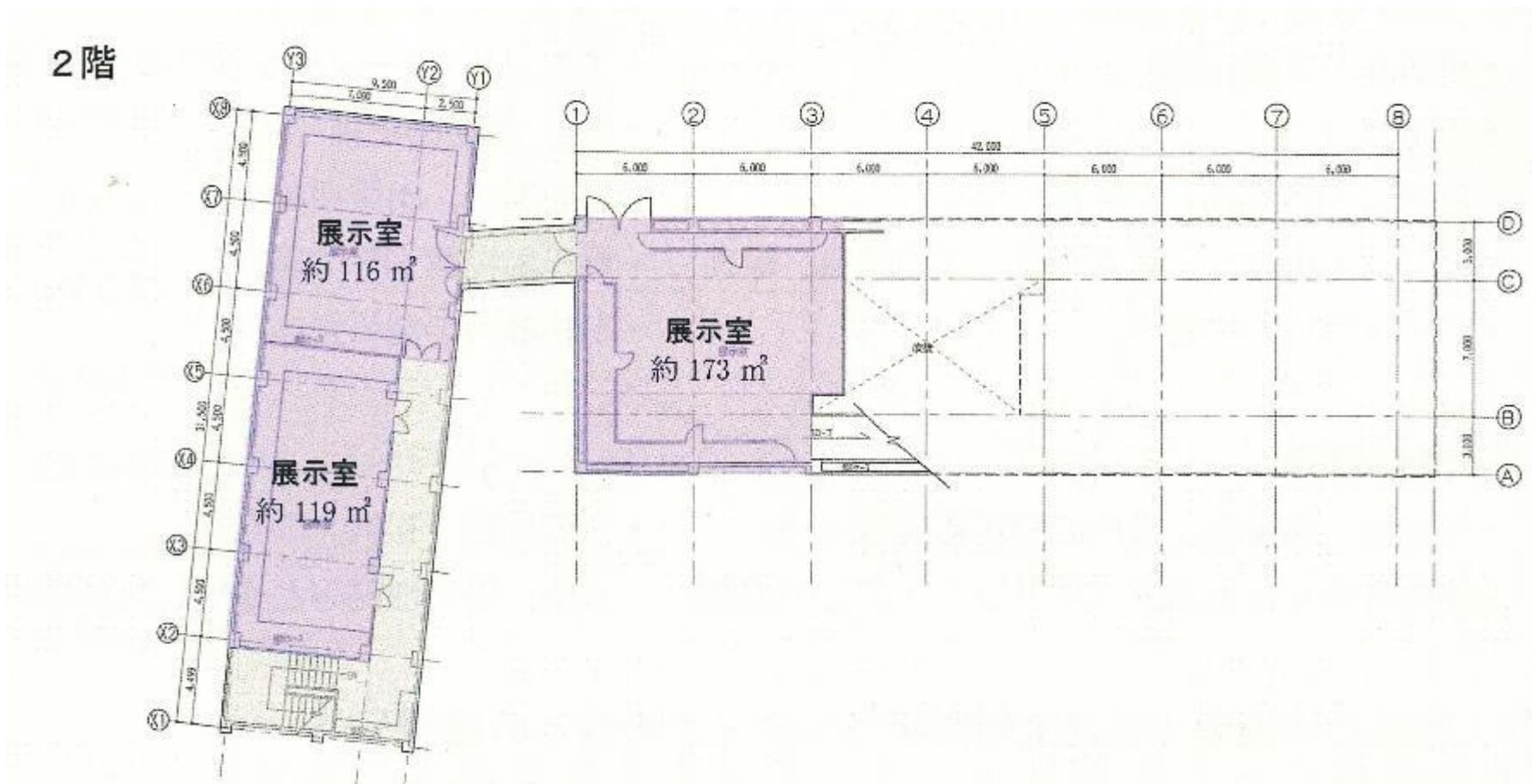




# ①真田宝物館（6 / 7）



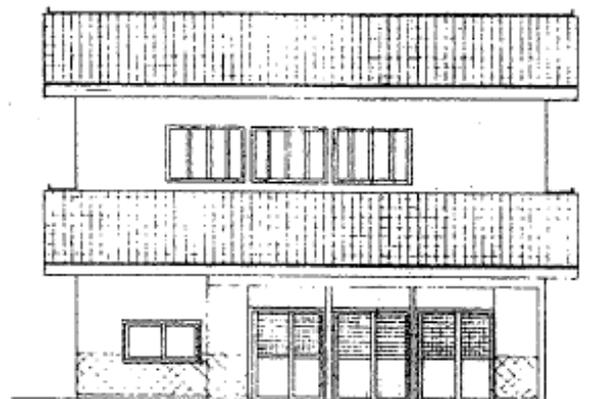
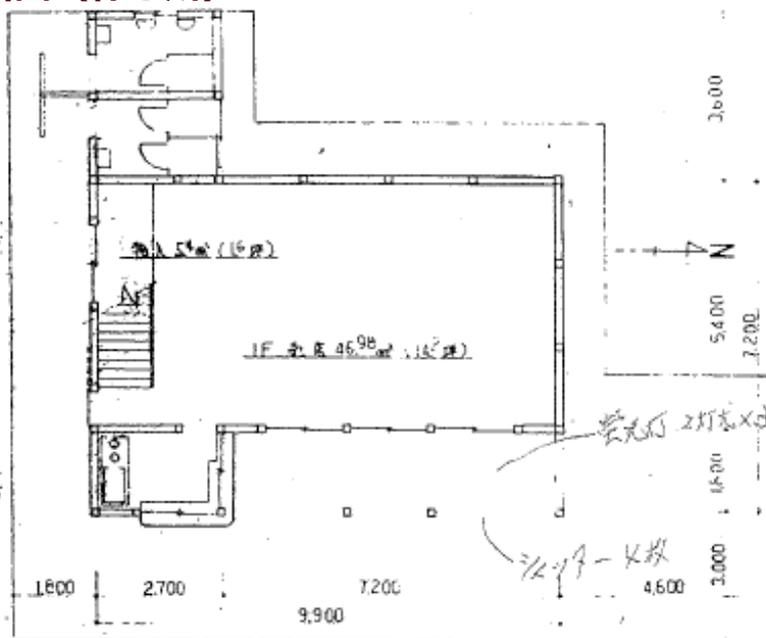
## 平面図（2階）



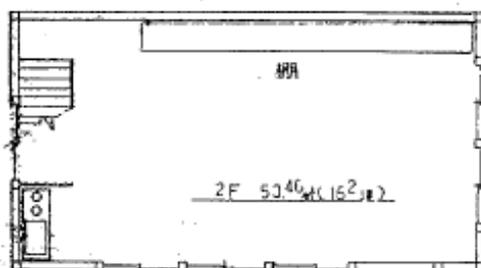
# ①真田宝物館 (休憩所) (7/7)



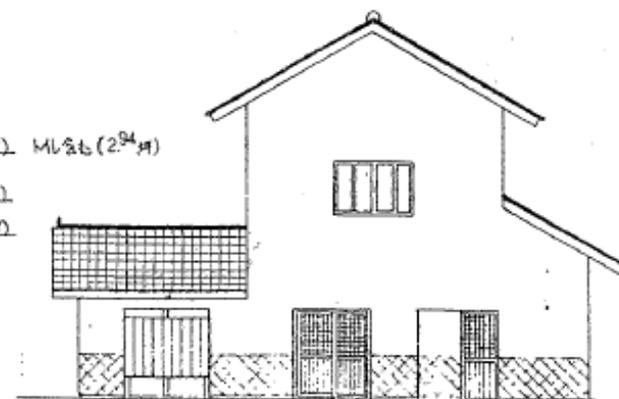
平面図・立面図 (休憩所)



東立面図



1F 68.04㎡ (206坪) ML室6 (294坪)  
 2F 53.46㎡ (162坪)  
 計 121.5㎡ (368坪)



南立面図

## ②松代城跡（1 / 2）



### ポイント

- ✓ 川中島合戦の際、武田信玄軍の拠点として築城。市による復元工事や環境整備工事を実施中(令和12年度より公開予定)。
- ✓ 江戸時代の城郭や門構えが復元されており、当時の様子を伝える石垣や土塁が整備されている。
- ✓ 都市公園として広い敷地を有しており、各大型行事の開催場所として活用。

所在地	〒381-1231 長野県長野市松代町松代44	
敷地面積 (延床面積)	4.5ha (128.34㎡) ※敷地面積は都市公園松代城公園の面積	
建築年度	不詳 (1560年には築城されていた記録あり)	
文化財種別	国指定史跡	
年間来場者数	150,240人 (令和6年度実績)	
年間支出 (令和6年度実績)	会計年度任用職員人件費	真田宝物館分に含む。
	消耗品・燃料	255千円
	光熱水費	416千円
	施設等修繕費	0千円
	通信費・手数料・使用料	123千円
	事務事業委託料	22,229千円
	支出計	23,023千円
年間収入 (令和6年度実績)	施設使用料	3千円
	収入計	3千円
管理形態	直営	
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 平成7年度～16年度に松代城跡第1期整備を実施。太鼓門・北不明門の復元、石垣の修復、土塁・堀等の整備により、江戸末期の城郭空間を復活。</li> <li>• 現在、松代城跡第2期整備により、城郭景観の復元や、来訪者のための環境整備を行っている(令和12年度より公開予定、約7.2ha)。</li> <li>• 真田十万石まつりや春まつりなどの大規模行事の会場として使用。</li> </ul>	

## ②松代城跡 (2 / 2)



### 平面図 (整備想定図)



### 第2期整備事業概要

#### » 事業期間

- ・平成29~令和11年度(予定)

#### » 主な事業項目

- ・用地取得
- ・発掘調査・史料調査
- ・二の丸土塁の復元
- ・三日月堀・外堀等の整備
- ・二の丸石場門の復元
- ・説明板・案内板等の整備
- ・環境整備 (植栽・設備等)
- ・園路・橋等の整備 など

#### » 整備後の敷地面積

- ・約7.2ha

# ③真田邸 (1 / 3)

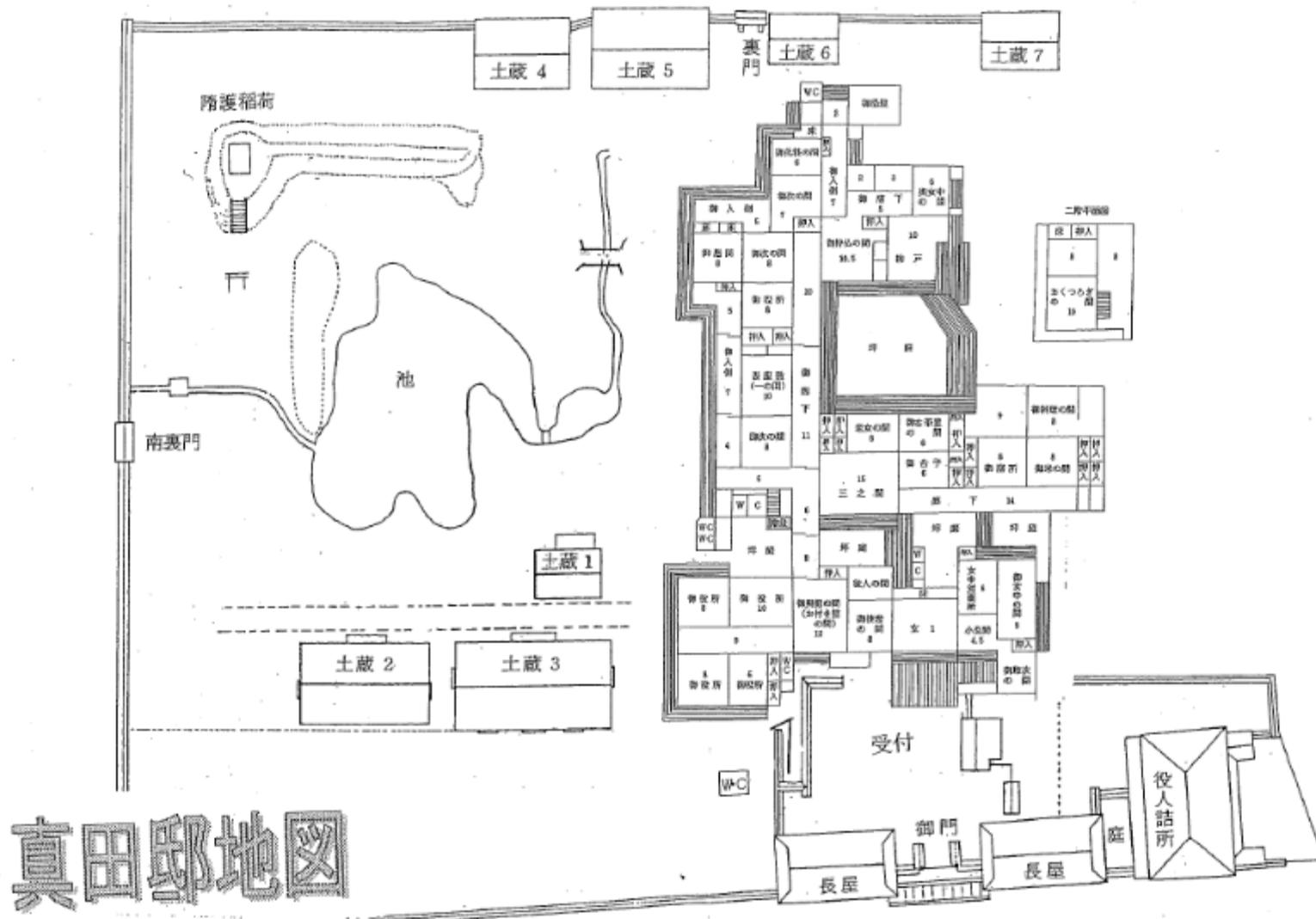


## ポイント

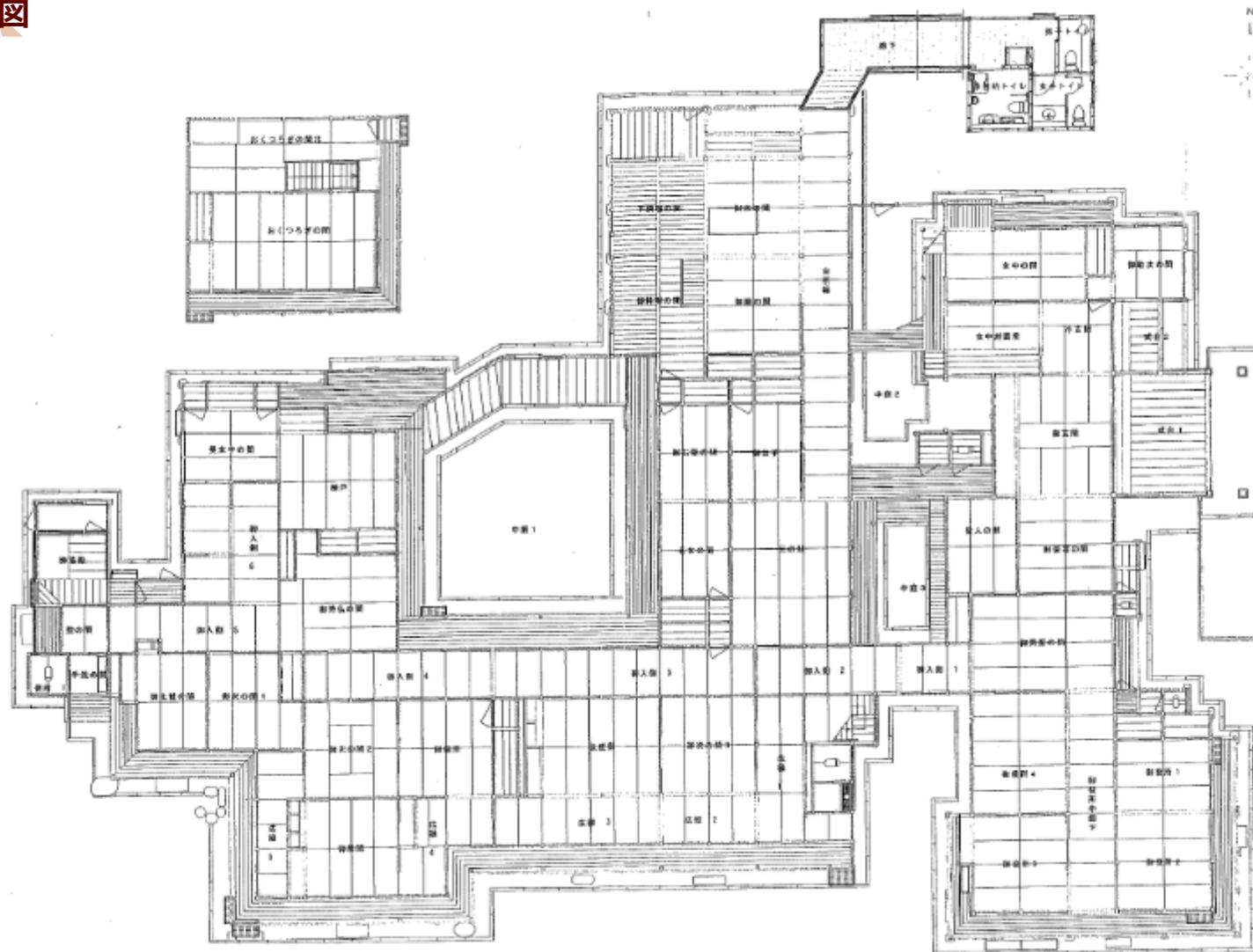
- ✓ 松代藩第9代藩主の真田幸教により義母・貞松院のために建築され、後に、隠居した藩主やその家族の城外御殿として使用された。
- ✓ 全国でも数少ない御殿建築の建築物で、美しい庭園も魅力。結婚式用写真の撮影等にも活用。
- ✓ 平成28年度には、大河ドラマ「真田丸」の効果で来場者数約20万人を記録。
- ✓ 敷地内にある7棟の土蔵には、真田宝物館所蔵の資料(長持ほか)が収蔵されている。

所在地	〒381-1231 長野県長野市松代町松代 1	
敷地面積 (延床面積)	7,986.15㎡ (1,787.3㎡)	
建築年度	1864年(江戸時代末期) S41長野市に譲渡	
用途地域	第一種中高層住居専用地域	
文化財種別	国指定史跡(松代城跡附新御殿跡)	
年間来場者数	44,188人 (令和6年度実績)	
年間支出 (令和6年度実績)	会計年度任用職員人件費	真田宝物館分に含む。
	消耗品・燃料・印刷製本費	936千円
	光熱水費	1,157千円
	施設等修繕費	381千円
	通信費・手数料・使用料	182千円
	事務事業委託料	219千円
	支出計	2,875千円
	年間収入 (令和6年度実績)	入場料
施設使用料		18千円
収入計		11,965千円
管理形態	直営	
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 受付体制：平日2人(7.25h) / 土日祝日2人(7.25h)</li> <li>• 平成22年度に改修が完了し、御殿内部を一般開放。</li> <li>• 利用者用トイレ整備済み。土蔵2には空調整備済み、土蔵3はR8空調整備予定。1つはボランティア団体に貸し出し中。土蔵3には水回り設備整備済み。</li> <li>• 池に面する居間では食事を提供するイベント等の実施実績もあり。</li> </ul>	

# ③真田邸 (2 / 3)



# ③真田邸 (3 / 3)



# ④文武学校 (1 / 2)



## ポイント

- ✓ 江戸時代後期の安政2年(1855)、藩士の学問所として開校した、松代藩の藩校。
- ✓ 敷地も含めて当時の建物がほぼ現存しており、全国でも非常に貴重。
- ✓ 平成28年度には、大河ドラマ「真田丸」の効果で来場者数約17万人を記録。
- ✓ 剣道大会の決勝戦やeスポーツ大会会場として利用されるなど、幅広い内容での利用を可能としている。
- ✓ 映画やドラマの撮影にも活用。
- ✓ 文庫蔵には真田宝物館所蔵の資料(駕籠ほか)が収蔵されている。

所在地	〒381-1231 長野県長野市松代町松代205-1	
敷地面積 (延床面積)	4,017㎡ (1,641.7㎡)	
用途地域	第一種住居地域	
建築年度	不詳 (1855年に開校)	
文化財種別	国指定史跡	
年間来場者数	27,125人 (令和6年度実績)	
年間支出 (令和6年度実績)	会計年度任用職員人件費	真田宝物館分に含む。
	消耗品・燃料・印刷製本費	209千円
	光熱水費	909千円
	施設等修繕費	288千円
	通信費・手数料・使用料	321千円
	事務事業委託料	1,997千円
	支出計	3,724千円
	年間収入 (令和6年度実績)	入場料
	施設使用料	433千円
	収入計	4,189千円
管理形態	直営	
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 受付体制：平日2~3人 (7.25h) / 土日祝日2~3人 (7.25h)</li> <li>• 令和2年度に改修工事を終え、リニューアルオープン。プロジェクトによる展示や体験型コンテンツ等を新設。バーチャル砲術体験等が可能</li> <li>• イベント時にはキッチンカーの設置等により飲食提供の実績もあり。</li> <li>• 利用者用トイレ整備済み。</li> </ul>	

# ④文武学校 (2 / 2)



平面図



# ⑤旧白井家表門 (1 / 2)



## ポイント

- ✓ 松代藩の藩士・白井家旧宅の表門。
- ✓ 20mの広い間口や出窓、見張り窓など、松代城下の武家屋敷の長屋門の特徴を有する。

所在地	〒381-1231 長野県長野市松代町204-3	
敷地面積 (延床面積)	1,000㎡ (138.77㎡)	
用途地域	第一種住居地域	
建築年度	1846年	
文化財種別	長野市指定有形文化財	
年間来場者数	2,048人 (令和6年度実績)	
年間支出 (令和6年度実績)	消耗品・燃料費	文武学校分に含む。
	光熱水費	文武学校分に含む。
	施設等修繕費	文武学校分に含む。
	通信費・手数料・使用料	文武学校分に含む。
	事務事業委託料	文武学校分に含む。
	支出計	文武学校分に含む。
年間収入 (令和6年度実績)	施設使用料	文武学校分に含む。
	収入計	文武学校分に含む。
管理形態	直営 (松代文化財ボランティアの会)	
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 松代文化財ボランティアの会による無料案内所として活用。</li> <li>• 平成12年に現在地に移築。</li> <li>• 利用者用トイレ・休憩所整備済み</li> </ul>	



# ⑥旧樋口家住宅（1 / 2）

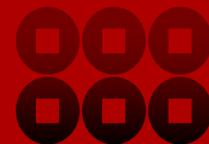


## ポイント

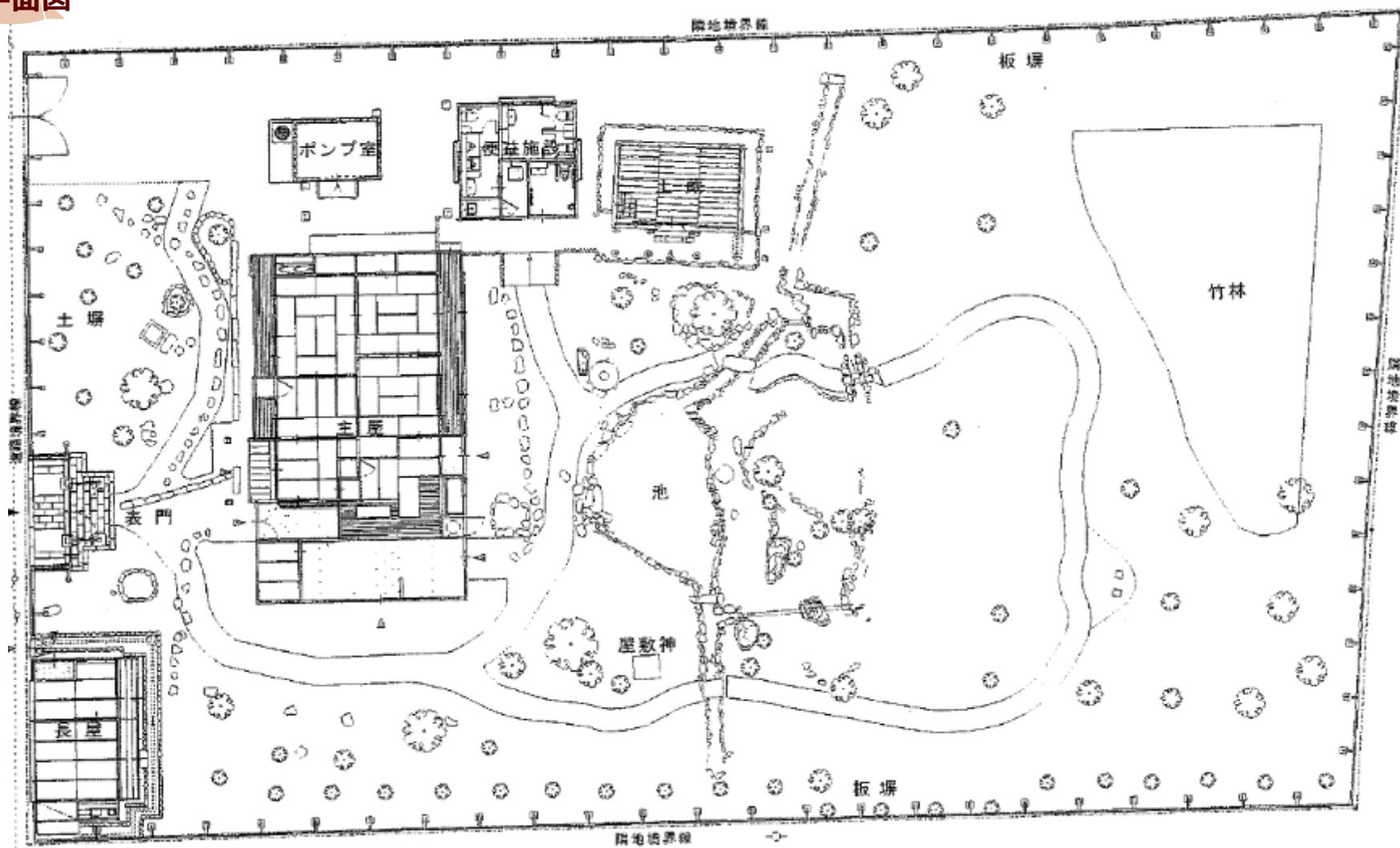
- ✓ 松代藩士・樋口家の旧宅。
- ✓ 敷地の中央の泉水路や雑木林、竹林を有する広い庭園や広い居間を持つ主屋などが魅力。
- ✓ 真田宝物館となりの真田公園向かいに位置し、真田邸と文武学校との往来途中にある。

所在地	〒381-1231 長野県長野市松代町202-1	
敷地面積 (延床面積)	2,131.63㎡ (248.12㎡)	
用途地域	第一種住居地域	
建築年度	1862年	
文化財種別	長野市指定有形文化財	
年間来場者数	16,892人 (令和6年度実績)	
年間支出 (令和6年度実績)	消耗品・燃料費	25千円
	光熱水費	326千円
	施設等修繕費	0千円
	通信費・手数料・使用料	138千円
	事務事業委託料	4,931千円
	支出計	5,420千円
年間収入 (令和6年度実績)	施設使用料	0千円
	収入計	0千円
管理形態	業務委託 (NPO法人夢空間松代のまちと心を育てる会)	
ポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 業務委託により受付や施設管理等を行っており、生涯学習の講座や展示会、体験会などが開催されている。</li> <li>• 土蔵はミニギャラリーとして活用中。</li> <li>• 利用者用トイレ整備済み。簡易キッチン整備済み(厨房はなし)。</li> <li>• 主屋、土蔵、長屋、屋敷神の祠、表門、土塀、板塀を修景・復元。</li> <li>• 専用駐車場あり(緊急車両・イベント等専用)</li> </ul>	

# ⑥旧樋口家住宅 (2 / 2)



平面図



# ⑦旧前島家住宅（1 / 2）

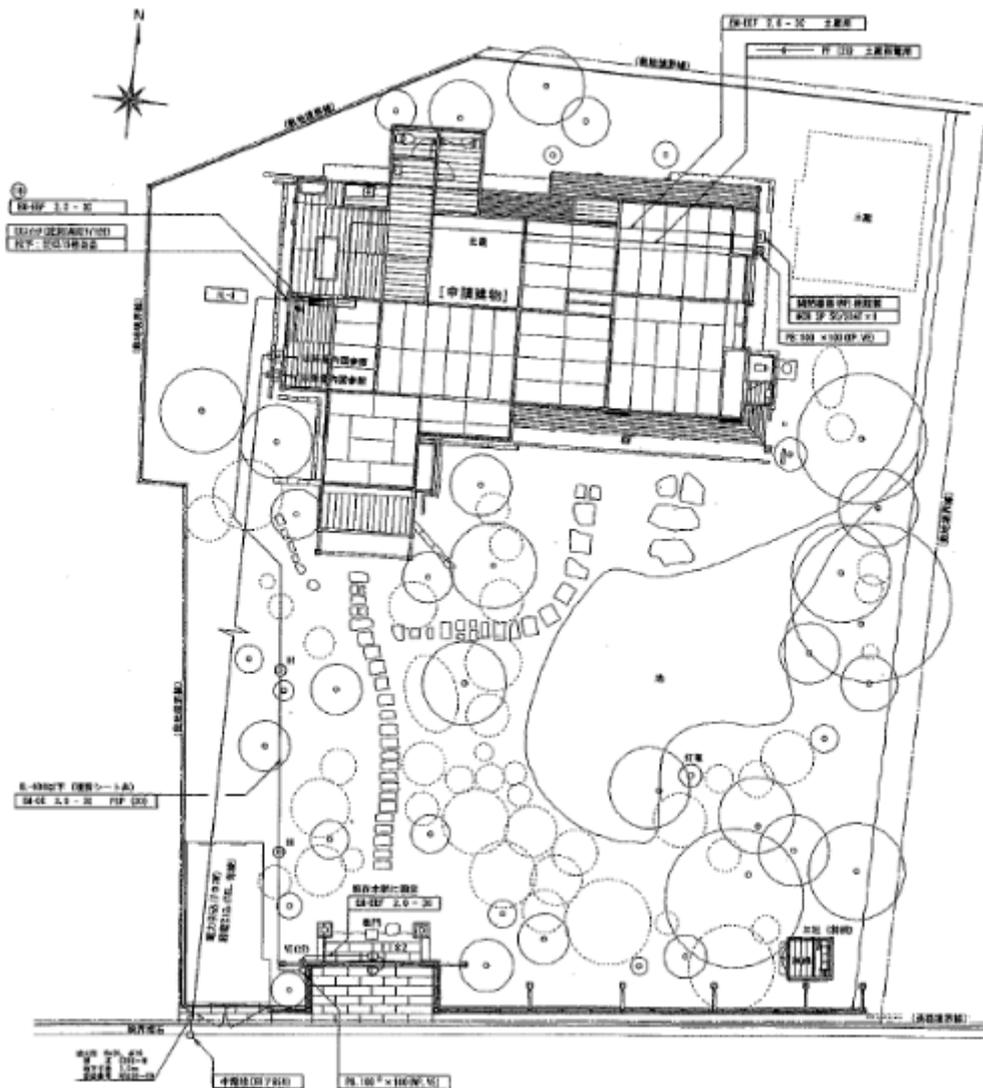


## ポイント

- ✓ 松代藩士・前島家の旧宅。
- ✓ 現在の敷地は幕末の屋敷地の約半分であるが、敷地内に主屋、土蔵、三社、庭園が現存。主屋は松代地区で最も古い時代のもの。
- ✓ 表門の先に広がる泉水を有する庭園と、シンプルな構造の邸宅が魅力で、映画やCMのロケ地としても人気。

所在地	〒381-1231 長野県長野市松代町1105	
敷地面積 (延床面積)	978㎡ (256.74㎡)	
用途地域	第一種住居地域	
建築年度	1759年	
文化財種別	長野県宝	
年間来場者数	3,543人 (令和6年度実績)	
年間支出 (令和6年度実績)	消耗品・燃料費	40千円
	光熱水費	273千円
	施設等修繕費	0千円
	通信費・手数料・使用料	106千円
	事務事業委託料	4,880千円
	支出計	5,299千円
年間収入 (令和6年度実績)	施設使用料	0千円
	収入計	0千円
管理形態	業務委託 (前島邸を護る会)	
ポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 業務委託により受付や施設管理等を行なっている。施設の解説や湯茶サービスも実施。</li> <li>• 平成17年～21年の改修工事で主屋・土蔵・庭園を保存整備し、平成22年に一般公開開始。</li> <li>• 利用者用トイレ整備済み。</li> </ul>	

# ⑦旧前島家住宅 (2 / 2)



# ⑧旧松代藩鐘楼 (1 / 2)

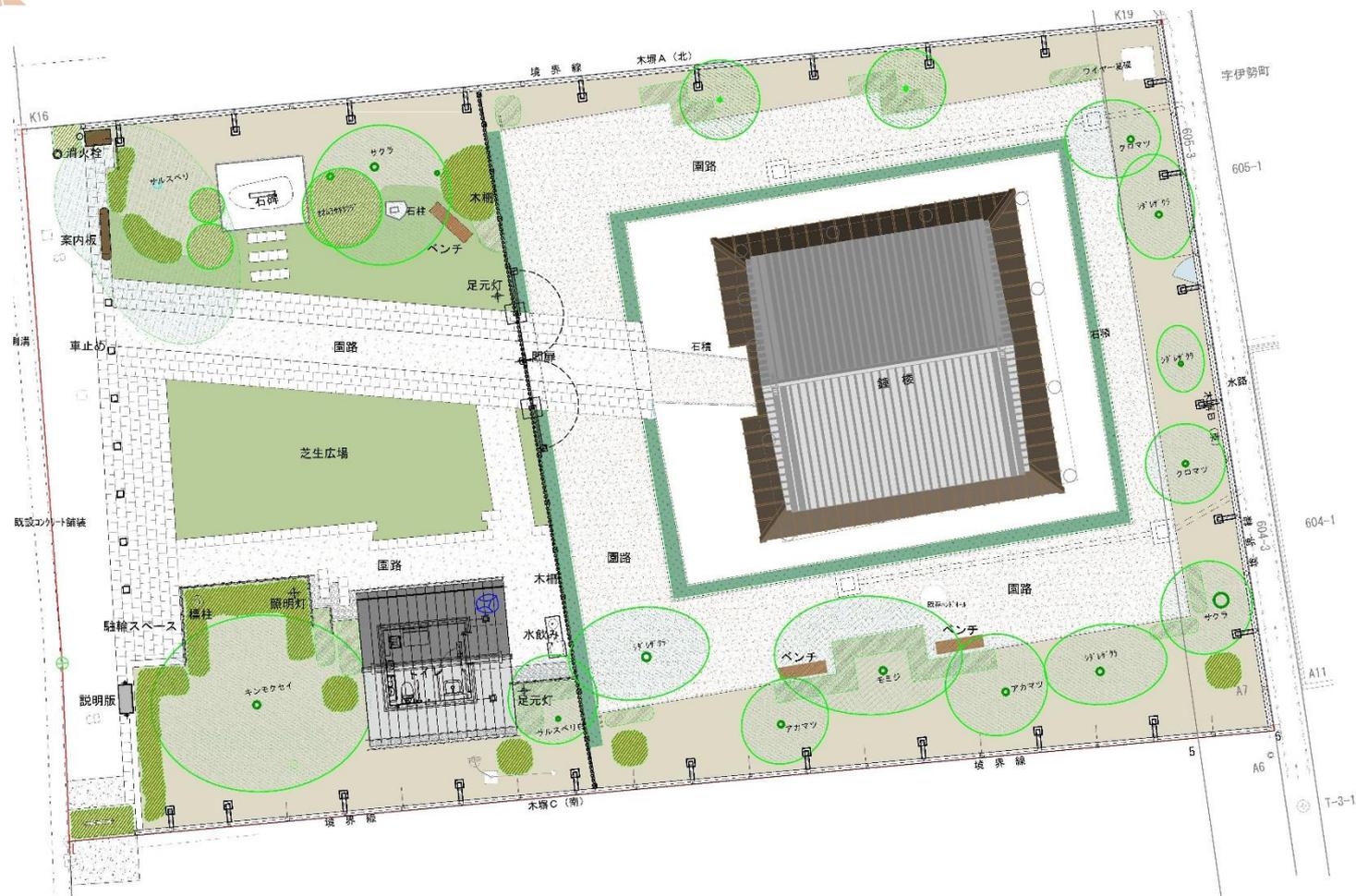


## ポイント

- ✓ 松代藩士や城下町に暮らす人々に日々の時間を知らせる役割を果たしていた。
- ✓ 当時の姿を保存している鐘楼は全国でも貴重。

所在地	〒381-1231 長野県長野市松代町1105	
敷地面積 (延床面積)	836.5㎡ (6.75㎡)	
建築年度	1801年 (再建)	
文化財種別	長野市指定有形文化財	
年間来場者数	240人 (令和6年度実績)	
年間支出 (令和6年度実績)	消耗品・燃料費	40千円
	光熱水費	61千円
	施設等修繕費	0千円
	通信費・手数料・使用料	79千円
	事務事業委託料	0千円
	支出計	180千円
年間収入 (令和6年度実績)	施設使用料	0千円
	収入計	0千円
管理形態	直営	
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 平成24年に修復工事完了。</li> <li>• 来訪者用トイレ設置済み</li> <li>• 令和7年に一部修理工事 (腰板取り換え等)</li> </ul>	

# ⑧旧松代藩鐘楼 (2 / 2)



# ⑨旧横田家住宅（1 / 4）

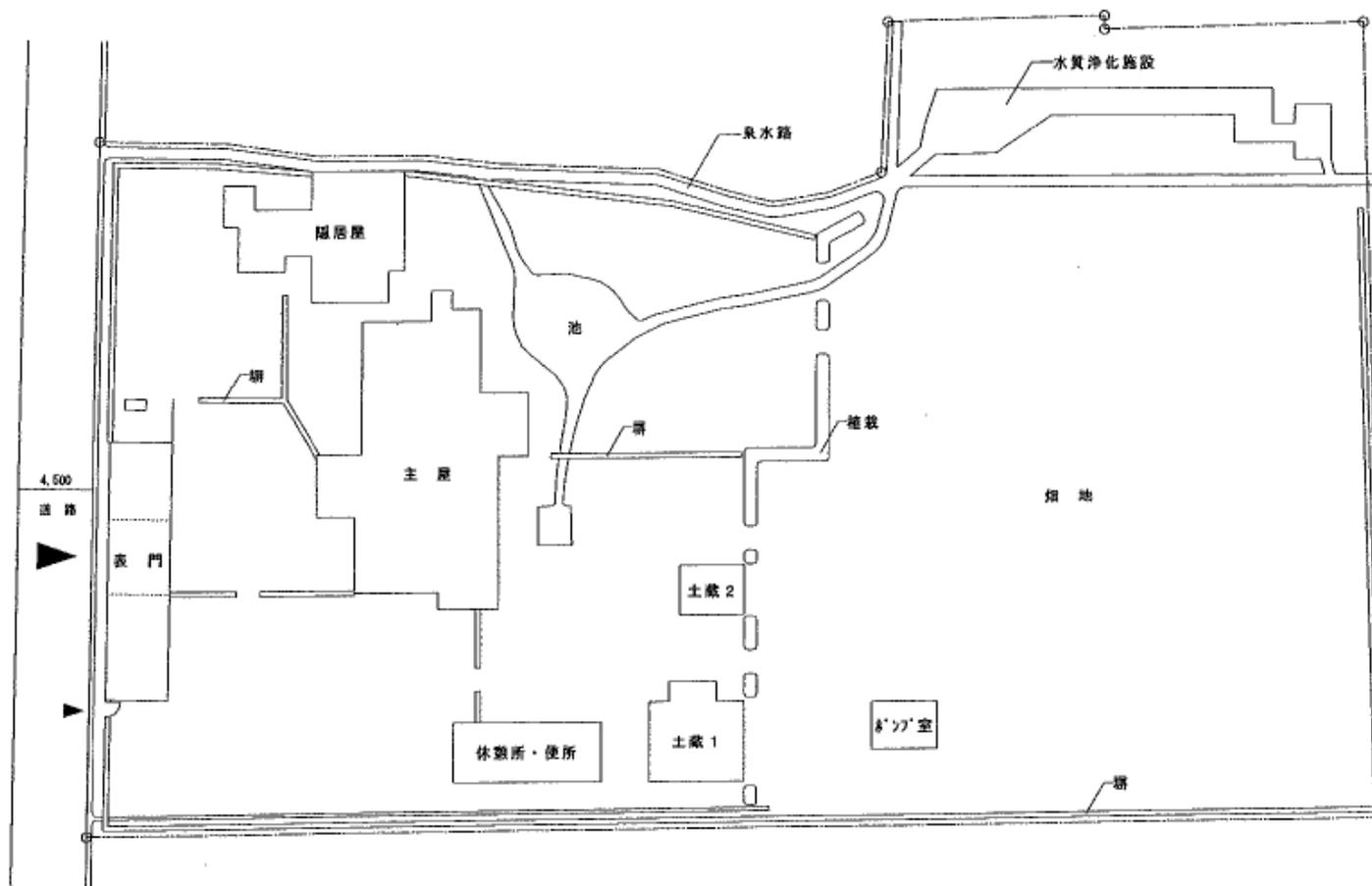


## ポイント

- ✓ 松代藩士・横田家の旧宅。表門・主屋、隠居屋、庭園、菜園などが、ほぼ当時のまま残されていることから、国重要文化財に指定される。
- ✓ 茅葺屋根の屋敷と美しい庭園、広い菜園があり、座敷からの景観も魅力。
- ✓ 「富岡日記」の著者である和田英の生家。
- ✓ 土蔵1には真田宝物館所蔵の資料が収蔵されている。

所在地	〒381-1231 長野県長野市松代町松代1434-1	
敷地面積 (延床面積)	3,340.82㎡ (348.29㎡)	
用途地域	第一種住居地域	
建築年度	不詳 (18世紀末)	
文化財種別	国指定重要文化財	
年間来場者数	4,300人 (令和6年度実績)	
年間支出 (令和6年度実績)	会計年度任用職員人件費	真田宝物館分に含む。
	消耗品・燃料・印刷製本費・飼料費	265千円
	光熱水費	269千円
	施設等修繕費	0千円
	通信費・手数料・使用料・賃借料	475千円
	事務事業委託料	0千円
	支出計	1,009千円
年間収入 (令和6年度実績)	入場料	122千円
	施設使用料	256千円
	収入計	378千円
管理形態	直営	
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 受付体制：平日1~2人 (7.25h) / 土日祝日1~2人 (7.25h)</li> <li>• 令和3年3月に屋根葺替え、耐震補強工事を完了。</li> <li>• 令和7年1月に防災施設整備工事を終え、オープン。</li> <li>• 利用者用トイレ整備済み。</li> </ul>	

# ⑨旧横田家住宅 (2 / 4)

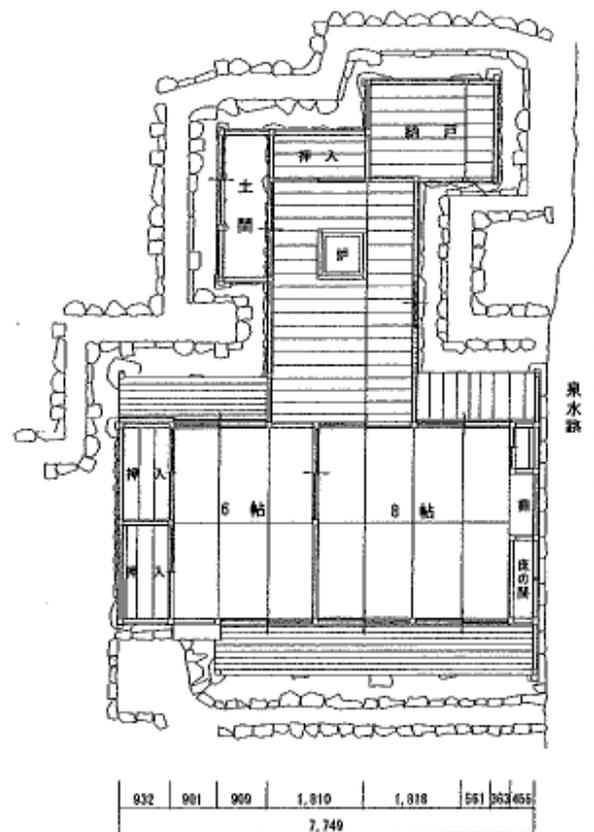




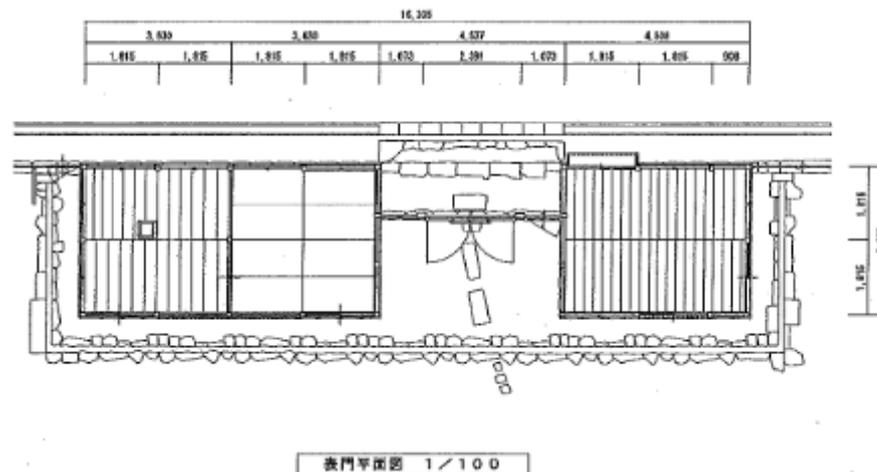
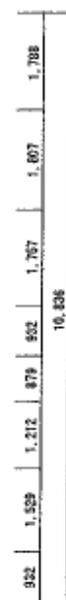
# ⑨旧横田家住宅 (4 / 4)



## 平面図 (隠居屋、表門)



隠居屋1階平面図 1/100



表門平面図 1/100

# ⑩寺町商家 (1 / 2)



## ポイント

- ✓ 江戸末期から昭和初期まで質屋等を営んでいた商家・金箱家の旧宅。
- ✓ 商家の営みを伝える歴史的建造物と、泉水路と池をもつ庭園が現存。
- ✓ 商家としての広い居間や複数の土蔵群、美しい庭園が魅力。
- ✓ 指定管理者により、松代の地域交流・観光交流施設としての運営がなされている。

所在地	〒381-1231 長野県長野市松代町1226-2	
敷地面積 (延床面積)	924.9㎡ (407.07㎡)	
建築年度	不詳 (江戸時代末～明治時代)	
文化財種別	長野市指定有形文化財	
年間来場者数	240人 (令和6年度実績)	
年間支出 (令和6年度実績)	事務事業委託料 (指定管理料)	8,795千円
	工事請負費 ※R6予算額・未執行	200千円
	支出計	8,995千円
年間収入 (令和6年度実績)	施設使用料	0千円
	収入計	0千円
管理形態	指定管理 (NPO法人夢空間松代のまちと心を育てる会)	
ポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 指定管理者制度により地元団体が受付や施設管理等を行なっている。</li> <li>• 平成24年～26年度に保存修理工事を行い、平成27年度にリニューアルオープン。</li> <li>• 食品営業許可基準の3槽シンクが設置されており、飲食提供可能。</li> <li>• 現在は、貸館利用が主で、ワンディシェフによるランチ提供、地元作家によるギャラリー、展示会、地元企業の販売会等に利用されており、利用者がいない場合は、指定管理者によるランチ・カフェの運営が行われている。</li> <li>• 指定管理者が手配した専用駐車場あり。</li> </ul>	

# ⑩寺町商家 (2 / 2)



平面图



# ⑪山寺常山邸（1 / 3）



## ポイント

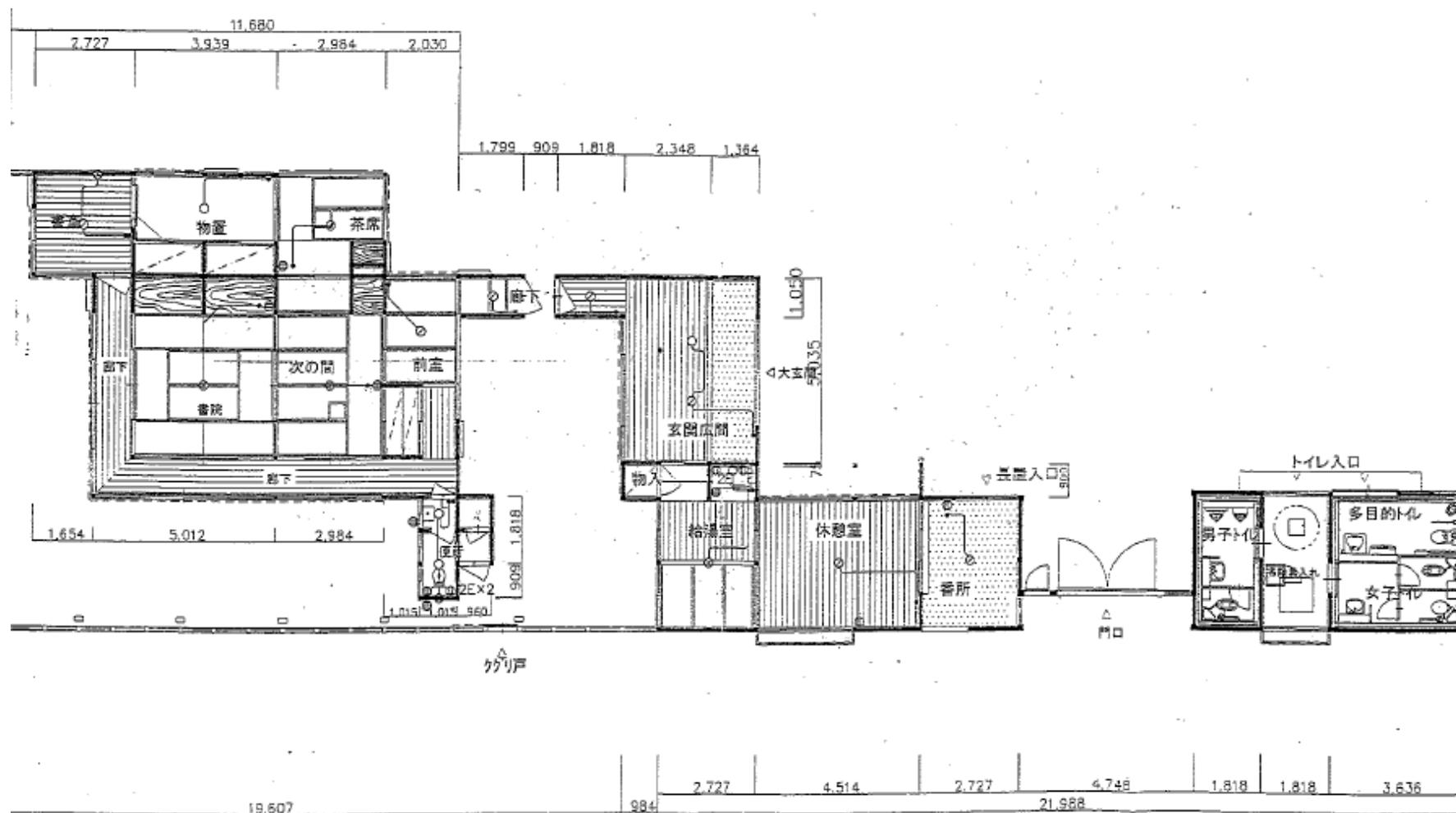
- ✓ 松代藩士・山寺家の旧宅。
- ✓ 松代藩士・山寺常山は、松代藩士・佐久間象山とともに”松代三山”と呼ばれた人物で、寺社奉行や群奉行を務めた。
- ✓ 庭の中心には、城下を流れる泉水の水を取り込んだ豊かな池があり、書院から眺める景色もすばらしい。

所在地	〒381-1231 長野県長野市 松代町松代1493-1	
敷地面積 (延床面積)	2,294.37㎡ (229.69㎡)	
用途地域	第一種住居地域	
建築年度	不詳（江戸時代末期以降）	
文化財種別	国登録有形文化財	
年間来場者数	24,640人（令和6年度実績）	
年間支出 (令和6年度実績)	消耗品・燃料費	194千円
	光熱水費	239千円
	施設等修繕費	0千円
	通信費・手数料・使用料	133千円
	事務事業委託料	4,928千円
	支出計	5,494千円
年間収入 (令和6年度実績)	施設使用料	0千円
	収入計	0千円
管理形態	業務委託（山寺常山邸協力会）	
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 業務委託により受付や施設管理等を行なっている。</li> <li>・ 平成14～16年にかけて表門と書院を復元・修景工事。平成17年4月から一般公開開始。</li> <li>・ 利用者用トイレ整備済み。</li> <li>・ 最寄りに駐車場（代官町駐車場 徒歩3分）あり</li> <li>・ 土蔵はギャラリーとして活用中。</li> </ul>	

# ⑪山寺常山邸 (2 / 3)



# ⑪山寺常山邸 (3 / 3)



# ⑫象山記念館



## ポイント

- ✓ 松代藩士・佐久間象山の事績を紹介すると共に、ゆかりの遺品や遺墨を展示。
- ✓ 老朽化により現在は休館中であるが、真田宝物館のリニューアルにあわせて内容を移転・統合予定。
- ✓ 駐車場は、周辺の文化施設をめぐするためのスペースとして活用中。

所在地	〒381-1231 長野県長野市松代町1446-6	
敷地面積 (延床面積)	1,179.14㎡ (523.68㎡)	
建築年度	昭和42年	
年間来場者数	3,616人 (令和6年度実績 1月～閉館)	
年間支出 (令和6年度実績)	会計年度任用職員人件費	真田宝物館分に含む。
	報奨金・消耗品・燃料・印刷製本費	258千円
	光熱水費	452千円
	物品等修繕料・施設等修繕費	500千円
	通信費・手数料・使用料・賃借料	91千円
	事務事業委託料 ※R6予算額・未執行	2,950千円
	支出計	4,251千円
年間収入 (令和6年度実績)	入場料	1,068千円
	施設使用料	0千円
	収入計	1,068千円
管理形態	直営	
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 設備老朽化に伴い、令和7年1月～休館中。</li> <li>• 収蔵品の一部は真田宝物館の収蔵庫に移設し、管理している。</li> </ul>	